

（別紙）

第三者評価結果

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

Ⅰ-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
Ⅰ-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
1	Ⅰ-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a・ b ・c
<コメント> 理念や基本方針は、パンフレットやホームページを通じて、利用者や家族への周知が図られている。 また、全体研修を通じて職員への周知も行われているが、今後は職員の理解促進や継続的な取り組みに繋がることが期待される。		

Ⅰ-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
Ⅰ-2-(1) 経営環境の変化等に対応している。		
2	Ⅰ-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a・ b ・c
<コメント> 中核機能強化事業所として、障がい福祉課や基幹相談支援センター、医療的ケア児支援センターとの定期的な連携を通じて、情報収集や地域課題の把握・分析に継続的に取り組んでいる。 今後は、収集・分析した情報を事業運営にどのように活かしていくかが期待される。		
3	Ⅰ-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a・ b ・c
<コメント> 幹部間での定期的なミーティングにより、運営コストや体制整備、人材育成などの課題が共有されている。 現場管理者も参加する体制が整えられているが、課題解消に向けて具体的な取り組みを着実に進めることが期待される。		

Ⅰ-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
Ⅰ-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	Ⅰ-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a・b・ c
<コメント> 地域ニーズやライフステージに応じたサービス提供の方向性は示されているが、中・長期的なビジョンに基づいた計画としては、体系的な整理や具体性に課題が残る。		

今後は、将来像に向けた中長期的な計画の明文化と共有が期待される。		
5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a・b・c
＜コメント＞ 単年度計画は策定されているが、明確な中長期ビジョンとの連動性が見えにくく、計画の位置づけや方向性が職員にとって把握しづらい可能性がある。 中長期計画との整合性を意識した単年度計画の構築が望まれる。		
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a・b・c
＜コメント＞ 事業計画の概要は全体研修等で説明されているが、職員の理解度や実践への反映状況については確認が不十分である。 今後は、職員の理解を深めるための継続的な説明や対話の機会の充実、計画的な評価が期待される。		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、利用者等に周知され、理解を促している。	a・b・c
＜コメント＞ 現時点では、事業計画が利用者や家族に十分に周知されているとは言い難い。 今後は、パンフレットやホームページ、説明機会の工夫などを通じて、利用者等への理解促進に向けた取り組みが期待される。		

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 福祉サービスの質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a・b・c
＜コメント＞ 法令に基づく年1回の自己評価を実施し、職員や利用者家族からの意見も踏まえて公表されている。 今後は、第三者評価の結果も活用しながら、福祉サービスの質の更なる向上が期待される。		
9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき組織として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a・b・c
＜コメント＞ 自己評価の結果は職員間で周知され、改善策の検討機会も設けられている。 家族からの申送りに関する課題に対して新たな取組が始まっており、今後の定着と効果が期待される。		

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
10	Ⅱ-1-(1)-① 管理者は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a (b) c
<コメント> キャリアパスの導入により、管理職・リーダー・一般職の役割が明確化されている。管理者の責任についても、今後さらに明示されることが期待される。		
11	Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a (b) c
<コメント> 全国重症児デイネットワークに所属し、報酬改定や運営体制に関する研修を定期的に受講している。関係機関との情報共有を通じて得られた知見を、自事業所の運営に活かしていくことが期待される。		
Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
12	Ⅱ-1-(2)-① 福祉サービスの質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a (b) c
<コメント> 年1回の職員自己評価を通じて、管理者が職員のニーズを把握し、改善に向けた検討を行っている点は評価される。また、機能強化事業所として、現場のニーズを踏まえた外部研修の企画・実施に取り組んでいることも意欲的である。 今後は、研修成果の自事業所への具体的なフィードバックと活用が期待される。		
13	Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a (b) c
<コメント> 人員基準を上回る職員配置を行い、サービスの質の向上に努めている点は評価される。経営的な負担を抑えつつ、質の維持・向上を図る姿勢は指導力の表れであり、今後はその取組の具体的な成果がより明確に示されることが期待される。		

Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	Ⅱ-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a (b) c
<コメント> ホームページやSNSを活用し、職場の雰囲気や業務内容の見える化を図ることで、採用活動や人材の定着に向けた工夫がなされている。 今後は、こうした取組の成果が人材確保や定着率向上にどのように繋がるかが期待される。		

15	Ⅱ-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	a・(b)・c
<コメント> 職員の意見を反映しながら職務内容を調整したキャリアパス制度が導入されており、人事課との連動にも取り組まれている。 今後は、制度の運用を通じた職員の成長支援や組織の活性化に繋がる成果が期待される。		
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a・(b)・c
<コメント> 年1回の個別面談を通じて、職員の就業状況や希望を把握し、ワークライフバランスへの配慮や職場環境の整備、シフト調整などに取り組まれている。 今後は、面談結果の活用や継続的なフォローアップを通じて、より働きやすい職場づくりが進むことが期待される。		
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	Ⅱ-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a・(b)・c
<コメント> 毎年の個別面談を通じて、職員のキャリアアップに向けた研修参加や資格取得を支援する体制が整えられている。職員の意欲や目標に寄り添った支援が継続されており、今後はその成果が業務の質向上に繋がることが期待される。		
18	Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a・(b)・c
<コメント> キャリアパスに「期待される職員像」が明示されており、チームビルディングやリーダー研修、幹部研修など、職員のキャリア段階に応じた研修が計画的に実施されている。 今後は、研修の成果を業務に反映させる仕組みづくりが期待される。		
19	Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	(a)・b・c
<コメント> 外部研修への参加を奨励し、事後報告やアサイメントを年報で共有するなど、学びの成果を組織内で活かす工夫がされている。さらに、職員会議等を事業所内で実施できるよう配慮されており、継続的な学習環境の整備が進められている点が評価される。		
Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
20	Ⅱ-2-(4)-① 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a・b・(c)
<コメント> 教育・育成に関する基本姿勢の明文化や、指導体制の整備、学校との連携による継続的な支援体制の構築については今後の課題である。 今後は、マニュアルの整備や指導者研修の実施を通じて、より体系的な育成体制の構築が期待される。		

Ⅱ-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
Ⅱ-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	Ⅱ-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a・b・c
<コメント> 自己評価の結果等、一部の情報公開は行われているが、福祉サービスの内容や運営状況について、利用者や家族がより理解しやすい形での情報提供には改善の余地がある。 今後は、透明性の向上に向けた工夫が期待される。		
22	Ⅱ-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a・b・c
<コメント> 運営方針や計画について、内部では一定の整理がされているものの、社会や地域に対して明示する取組は限定的である。 今後は、広報媒体の活用や説明機会の充実を通じて、法人の理念や方針の発信、運営の透明化が期待される。		

Ⅱ-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	Ⅱ-4-(1)-① 利用者と地域との交流を広げるための取組を行っている。	a・b・c
<コメント> 地域との関係づくりについて、掲示板の活用など一部の情報提供は行われているが、積極的な交流や地域資源の活用には至っていない。 今後は、地域との双方向の関係構築に向けた取組が期待される。		
24	Ⅱ-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a・b・c
<コメント> 管理者個人による特別支援学校との連携や医師からの助言を受けるなど、地域との関わりが見られる。 今後は、組織的な地域貢献活動としての展開や継続的な関係づくりが期待される。		
Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	Ⅱ-4-(2)-① 福祉施設・事業所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a・b・c
<コメント> 自立支援協議会への参画をはじめ、就学児部会の部会長としての活動や、医療的ケア児支援センターとの連携など、地域の関係機関との協働体制が構築されている。 今後は、こうした連携の成果を福祉サービスの質向上にどう活かすかが期待される。		
Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
26	Ⅱ-4-(3)-① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	a・b・c

	る。	
<コメント> 年２回、地域の民生委員等との情報交換会や見学会を通じて、地域の福祉ニーズの把握に努めている。 さらに把握したニーズを事業計画等に反映させる仕組みづくりが期待される。		
27	Ⅱ-４-(３)-② 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a・(b)・c
<コメント> 民生委員との交流や社会資源の発掘、定期的な研修会の開催など、地域貢献に向けた取組が進められている。 今後は、こうした活動の継続と、地域との協働による新たな展開が期待される。		

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-１ 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
Ⅲ-１-(１) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ-１-(１)-① 利用者を尊重した福祉サービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	a・(b)・c
<コメント> 虐待防止委員会の設置や、事例を交えた月例ミーティングの実施など、利用者を尊重した福祉サービスの提供に向けた取組が行われている。 今後は、職員の理解促進と実践の定着に向けた継続的な研修が期待される。		
29	Ⅲ-１-(１)-② 利用者のプライバシー保護に配慮した福祉サービス提供が行われている。	a・(b)・c
<コメント> パーテーションの活用など、利用者の更衣や排泄時のプライバシー保護に配慮した環境整備が行われている。 今後は、職員への周知や利用者・家族への説明を通じて、より一層の理解と安心感の醸成が期待される。		
Ⅲ-１-(２) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
30	Ⅲ-１-(２)-① 利用希望者に対して福祉サービス選択に必要な情報を積極的に提供している。	a・(b)・c
<コメント> 玄関の掲示板を活用した情報提供が行われており、利用希望者への周知に取り組まれている。 今後は、資料の内容や掲示方法に工夫を加えることで、誰にでも分かりやすく、より効果的な情報提供が図られることが期待される。		
31	Ⅲ-１-(２)-② 福祉サービスの開始・変更にあたり利用者等にわかりや	a・b・(c)

	すく説明している。	
<コメント> パンフレットや資料による説明は行われているが、利用者自身が理解しやすいような工夫には課題が残る。今後は、視覚的・言語的配慮を含めた説明方法の改善が期待される。		
32	Ⅲ-1-(2)-③ 福祉施設・事業所の変更や家庭への移行等にあたり福祉サービスの継続性に配慮した対応を行っている。	a・b・c
<コメント> 家庭とのノート交換を通じて、日常生活のリハビリ資料等を共有するなど、継続性への配慮が見られる。 今後は、こうした取組をより体系化し、変更時の不安軽減に繋げることが期待される。		
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の上昇に努めている。		
33	Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a・b・c
<コメント> 現在は自己評価アンケートによる把握が中心であり、利用者の声を直接反映する仕組みには課題が残る。 今後は、懇談会や個別面談などの機会を通じて、満足度向上に向けた具体的な取組が期待される。		
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a・b・c
<コメント> 現時点では苦情の申出は少ないが、体制整備に向けた取組が求められる。利用者が安心して意見を述べられる環境づくりと、体制の周知が期待される。		
35	Ⅲ-1-(4)-② 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、利用者等に周知している。	a・b・c
<コメント> 医療的ケア児が中心の利用であることから、意思表示の工夫が必要とされる。 今後は、利用者の状況に応じた相談・意見表明の方法を整備し、より開かれた環境づくりが期待される。		
36	Ⅲ-1-(4)-③ 利用者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a・b・c
<コメント> 送迎時の申し送りやLINEを活用した情報共有により、利用者からの相談や要望に迅速に対応する体制が整えられている。 今後は、対応内容の記録や振り返りを通じて、さらなる質の向上が期待される。		
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a・b・c
<コメント> リーダー会議や職員間の情報共有を通じて、相談内容に基づく安全・事故防止の対応が行わ		

れている。 今後は、相談記録の統一的な管理と活用による支援の質向上が期待される。		
38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における利用者の安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a・(b)・c
<コメント> 感染対策委員会の設置と実施により、感染症予防と発生時対応に向けた体制が整えられている。マニュアルの作成や職員への周知、定期的な勉強会の開催など、基本的な取組は概ね実施されている。 今後は、対応マニュアルの定期的な見直しと、実践的な訓練の充実を通じて、より実効性の高い感染症対策が期待される。		
39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における利用者の安全確保のための取組を組織的に行っている。	a・b・(c)
<コメント> BCPの策定はされているが、災害時の具体的な対応体制や防災訓練の実施については整備の余地がある。今後は、実践的な訓練や体制の明文化を通じた強化が期待される。		

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
40	Ⅲ-2-(1)-① 提供する福祉サービスについて標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	a・(b)・c
<コメント> 標準的な実施方法が文書化されており、職員がサービス提供時に活用できる体制が整えられている。 今後は、非常時対応の具体性や職員への周知徹底がさらに進むことが期待される。		
41	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a・b・(c)
<コメント> モニタリング等を通じた見直しの取組は行われているが、標準的な実施方法そのものの検証・更新については十分とは言えない。 今後は、職員や利用者の意見を反映しながら、標準的な実施方法の定期的な見直しと文書化を進めることが期待される。		
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
42	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく個別支援計画を適切に策定している。	a・(b)・c
<コメント> 医療的ケア児の利用が多く、専門職の配置もあることから専用のアセスメントシートを活用し、個別支援計画の策定が行われている。 今後は、支援内容の変化に応じた柔軟な見直しが継続されることが期待される。		
43	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に個別支援計画の評価・見直しを行っている。	a・(b)・c

＜コメント＞ モニタリングシートを活用し、他事業所との連携を図りながら個別支援計画の見直しが行われている。 今後は、見直しの時期や手順の明確化、関係職員への周知体制の強化を通じて、より組織的かつ継続的な支援体制の構築が期待される。		
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
44	Ⅲ-2-(3)-① 利用者に関する福祉サービス実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a・ b ・c
＜コメント＞ 多職種の意見を反映した看護サマリーを活用し、利用者の福祉サービス実施状況について適切な記録が行われている。 今後は、記録様式の統一や情報共有の仕組みをさらに整備することで、家庭や学校等との連携においても一層の活用が期待される。		
45	Ⅲ-2-(3)-② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	a・b・ c
＜コメント＞ 個人情報保護については、契約時の説明で同意を得て、職員の全体研修で行われているが、責任者が設置されていないことで、体制として十分とは言い難い。 今後は、記録様式の標準化と職員間での共有を通じて、記録の質向上が期待される。		

A-1 利用者の尊重と権利擁護

		第三者評価結果
A-1-(1) 自己決定の尊重		
A①	A-1-(1)-① 利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている。	a ・b・c
＜コメント＞ 視線入力やスイッチ等を活用したコミュニケーション支援が継続して行われ、個別支援会議での情報共有・検討も定期的に実施されている点が確認できる。さらに、訪問理美容サービスの活用により、利用者の希望に沿った外見ケアが提供されており、自己決定を尊重した支援として評価できる。		
A-1-(2) 権利擁護		
A②	A-1-(2)-① 利用者の権利擁護に関する取組が徹底されている。	a・b・ c
＜コメント＞ 身体拘束・虐待防止委員会の設置や事例検討の実施は確認されたが、職員への周知や具体的		

手続きの整備、利用者・家族への情報提供など、権利擁護に関する取組の実効性を高める工夫が求められる。

A-2 生活支援

		第三者評価結果
A-2-（1） 支援の基本		
A③	A-2-（1）-① 利用者の自律・自立生活のための支援を行っている。	a (b)・c
<コメント> 医療的ケア児や重度障害の利用者に対し、多職種連携によるリハビリ支援が行われており、自律・自立に向けた取組として一定の評価ができる。 今後は、個別支援計画に基づく生活支援の具体性を高める工夫が望まれる。		
A④	A-2-（1）-② 利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。	a (b)・c
<コメント> コミュニケーション機器の整備は進んでおり、環境面での支援体制は整っている。 今後は、利用者の状況に応じた個別的な支援の充実や、職員の理解促進に向けた取組が期待される。		
A⑤	A-2-（1）-③ 利用者の意思を尊重する支援としての相談等を適切に行っている。	a (b)・c
<コメント> 意思の表明が難しい利用者に対しても、丁寧な関わりを通じて意思をくみ取ろうとする姿勢が見られ、支援の質の高さがうかがえる。 今後も利用者一人ひとりの表現方法に応じた支援の工夫を継続することが期待される。		
A⑥	A-2-（1）-④ 個別支援計画にもとづく日中活動と利用支援等を行っている。	a (b)・c
<コメント> 職員体制を工夫し、利用者の希望や状況に応じた柔軟な対応が可能となっている点は評価できる。 今後も個別支援計画に基づいた支援内容の見直しや、職員間の情報共有を通じて、より質の高い支援の実現を目指していくことが期待される。		
A⑦	A-2-（1）-⑤ 利用者の障害の状況に応じた適切な支援を行っている。	(a) b・c
<コメント> 医療的ケアが必要な利用者への対応として、看護師の送迎同乗や情報共有の仕組みが整えられており、安心・安全な支援体制が構築されている。引き続き、研修等を通じた職員の専門性向上と、支援体制の維持・発展に努めていただきたい。		
A-2-（2） 日常的生活支援		
A⑧	A-2-（2）-① 個別支援計画にもとづく日常的生活支援を行っている。	a (b)・c

<コメント> 呼吸器を装着した状態でも入浴ができるような体制を整え、利用者の気持ちに寄り添った支援が行われており、安心感のある関係づくりが進められている。 今後は、より一層の信頼関係の構築に向けて、日々の関わりの中での声かけや表情の変化への気づきを大切にしていくことが期待される。		
A-2-(3) 生活環境		
A⑨	A-2-(3)-① 利用者の快適性と安心・安全に配慮した生活環境が確保されている。	a・ (b) ・c
<コメント> 医療的ケア児が多く利用していることから、医療的な処置ができるよう安全な生活環境が整えられており、利用者が落ち着いて過ごせるよう配慮されている。 今後は、利用者の個別の特性や好みに応じた環境調整や、より快適な空間づくりに向けた工夫が期待される。		
A-2-(4) 機能訓練・生活訓練		
A⑩	A-2-(4)-① 利用者の心身の状況に応じた機能訓練・生活訓練を行っている。	(a) ・b・c
<コメント> 理学療法士、看護師、児童指導員が対等な立場で連携し、利用者の状態に応じた機能訓練や医療的ケアが適切に実施されている点は高く評価できる。 今後も多職種間での情報共有や支援内容の見直しを継続し、利用者の主体性を引き出す訓練の工夫がさらに進むことを期待している。		
A-2-(5) 健康管理・医療的な支援		
A⑪	A-2-(5)-① 利用者の健康状態の把握と体調変化時の迅速な対応等を適切に行っている。	(a) ・b・c
<コメント> 健康状態の把握や医療的支援が適切に行われており、安心して日々を過ごせる体制が整っている。今後も継続的な健康観察と、医療機関との連携を通じた支援の質の維持・向上が期待される。		
A⑫	A-2-(5)-② 医療的な支援が適切な手順と安全管理体制のもとに提供されている。	(a) ・b・c
<コメント> 医療的ケア研修への継続的な参加や、喀痰吸引等の特定行為に対応できる体制の整備など、医療ニーズに応じた支援体制が構築されており、安心・安全な支援が提供されている。今後も職員の研修や指導体制の充実を図りながら、利用者一人ひとりの医療的ニーズに応じた支援の質の維持・向上が期待される。		
A-2-(6) 社会参加、学習支援		
A⑬	A-2-(6)-① 利用者の希望と意向を尊重した社会参加や学習のための支援を行っている。	a・b・ (c)
<コメント> 社会参加や学習の機会について、今後の充実が期待される状況である。		

利用者の興味・関心を把握し、無理のない範囲での活動参加や学びの機会を設けることで、自己表現や達成感につながる支援が望まれる。		
A-2-(7) 地域生活への移行と地域生活の支援		
A⑭	A-2-(7)-① 利用者の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援を行っている。	a (b) c
<コメント> 高齢者デイサービスを併設しており、行事や活動を通して交流の機会を設けている。地域生活への移行に向けた支援が進められており、段階的な取り組みが見られる。 今後は、地域資源との連携をさらに深め、利用者が地域の一員として安心して暮らせるような支援体制の構築が期待される。		
A-2-(8) 家族等との連携・交流と家族支援		
A⑮	A-2-(8)-① 利用者の家族等との連携・交流と家族支援を行っている。	(a)・b・c
<コメント> 同一地域に重症心身障害・医療的ケア児が入浴できる施設が少ない中において、家族との連携や地域のニーズに応え、交流が積極的に行われており、利用者の社会的つながりの維持に寄与している。今後も継続的な関係づくりを大切にしながら、交流の機会を広げていく取り組みが期待される。		

A-3 発達支援

		第三者評価結果
A-3-(1) 発達支援		
A⑯	A-3-(1)-① 子どもの障害の状況や発達過程等に応じた発達支援を行っている。	a (b) c
<コメント> 個別対応の機会を多く設け、発達過程や適応行動の状況を踏まえた支援が行われており、利用者一人ひとりに応じた丁寧な関わりがうかがえる。 今後も継続的な観察と記録を通じて、発達の変化に応じた柔軟な支援の工夫が期待される。		

A-4 就労支援

		第三者評価結果
A-4-(1) 就労支援		
A⑰	A-4-(1)-① 利用者の働く力や可能性を尊重した就労支援を行っている。	a (b) c
<コメント> 併用している就労支援事業所との連携を通じて、生活介護の場面でもリハビリテーションを取り入れた機能訓練が実施されており、就労に向けた意識づけが図られている。 今後も利用者の可能性を引き出す支援の継続と、関係機関との連携強化が期待される。		

A⑱	A-4-(1)-② 利用者に応じて適切な仕事内容等となるように 取組と配慮を行っている。	a・b・c
<コメント> 該当項目なし		
A⑲	A-4-(1)-③ 職場開拓と就職活動の支援、定着支援等の取組 や工夫を行っている。	a・b・c
<コメント> 該当項目なし		